

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	268	やすらぎ霊園管理事業													
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち														
			施策	多様な世代の定住・移住を促進しよう														
			基本事業	住まい														
	主管課名		生活環境課			課長名	鈴木 孝明											
	この事務事業の開始時期		平成15(2003)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務											
	この事務事業の根拠法令		みよし市やすらぎ霊園条例															
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由												
	- 墓地管理講習会への参加 - 墓地管理（電気、水道、パンフレット、通信費） - 霊園維持管理委託（樹木管理、清掃等） 「SDGsの取り組み：1, 11, 13」					やすらぎ霊園の樹木管理・除草管理・廃棄花柄の処理を実施し、安全で清潔な霊園を保持する。 第1期 2㎡130区画 3㎡181区画 第2期 2㎡301区画 3㎡128区画 芝生3㎡106区画												
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				平成18(2006)年4月に第1工区を供用開始。墓地の維持管理に努めるとともに、使用者を随時募集した。													
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）													
変 化 内 容	墓地の利用者の年齢層が高齢もしくは子供に承継されてきている。現状では無縁墳墓等は確認されないが、「管理が不要な永代供養や納骨堂に改葬したい」という意見がみられる。				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>全体計画進捗率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	全体計画進捗率	%	②		
					名称		単位											
①	全体計画進捗率	%																
②																		
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）													
市民					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	人口	人	②		
					名称		単位											
①	人口	人																
②																		
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）													
墓地を必要としている市民に提供する					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>やすらぎ霊園墓地累計利用率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	やすらぎ霊園墓地累計利用率	%	②		
					名称		単位											
①	やすらぎ霊園墓地累計利用率	%																
②																		
結果(上位基本事業の意図)					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）													
市民に必要な墓地を提供する					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>墓地使用数</td> <td>区画</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	墓地使用数	区画	②		
					名称		単位											
①	墓地使用数	区画																
②																		
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																		
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値									
(1)の活動指標		① %	44	44	44	44	44	44	44									
		②																
(2)の対象指標		① 人	61,218	61,375	61,375	61,656	61,938	62,219	62,500									
		②																
(3)の成果指標		① %	43.5	44.4	44.4	45.4	46.3	47.3	48.2									
		②																
(4)の結果の成果指標		① 区画	368	376	376	384	392	400	408									
		②																
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	01						
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値									
事業費(決算又は予算額) A		単位	2,719	3,314	2,617	2,963	2,974	2,974	2,975									
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0									
	その他	千円	720	742	966	752	752	752	752									
	一般財源	千円	1,999	2,572	1,651	2,211	2,222	2,222	2,223									
人件費B		千円	528	528	528	528	528	528	528									
正職員従事時間×人数		時間×人	50×3	50×3	50×3	50×3	50×3	50×3	50×3									
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0									
その他の費用C		千円	61	61	22	22	22	22	22									
トータルコストA+B+C		千円	3,308	3,903	3,167	3,513	3,524	3,524	3,525									
単位あたりコスト ①		千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1									
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0									

事務事業名		No.	268	やすらぎ霊園管理事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	霊園の利用者を随時募集しており、利用者が年々増えているため、必要である	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	行政区墓地だけでは、墓地を必要とする市民全てに対応できず、市全域を対象とした墓地が必要であるため、対象を見直す必要はない	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	行政区墓地だけでは、墓地を必要とする市民全てに対応できず、市全域を対象とした墓地が必要であるため、目的を見直す必要はない	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		対象が死亡者など自然な要因であるため、向上は困難である		
		目的達成状況	内 容		公衆衛生その他公共福祉の見地から、市民が必要とする墓地の運営を永続的に実施することが重要であり、墓地使用申請のあった市民に対し墓地を提供できているため、目的は達成している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 市民の生活に関わる内容であり、市の職員が直接対応することが相応しいため		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		現状で適正		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容		現状で適正		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	現状で適正	
	3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	供用開始から10年以上経過したため、区画内の舗装が傷んできている。		対応策	数年以内に舗装修繕が必要になってくる。
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	やすらぎ霊園の使用許可事務、維持管理事務を実施		変 更 ・ 追 加	なし	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案				
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容・引き続き計画的な霊園運営及び維持管理を実施していく。				
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			→ 維持				

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月15日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	5931	結婚新生活支援事業							
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	多様な世代の定住・移住を促進しよう								
			基本事業	住まい								
	主管課名		こども政策課			課長名	加藤 陽介					
	この事務事業の開始時期		令和4(2022)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		地域少子化対策重点推進事業交付金									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	少子化対策の一つとして、対象世帯に補助金を交付し、結婚生活に対する経済的不安の軽減と生産年齢人口（特に若年層）の定住促進を図る。 SDGsの取り組み：1, 11, 13					本市に住み続けたい人の結婚を後押しし、今後も安心して生活を送ることができるように結婚に伴う新居の取得費用、賃貸費用等の一部を補助し、支援していく。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		婚姻に伴う住宅購入、賃借及びリフォーム並びに引越し費用のうち、対象期間に夫婦の双方又は一方が支払った費用の一部を補助金として交付した。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	出生率が低下し、こどもの数が減少している				名称		単位					
					①	18歳未満の人口		人				
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市内に住む若者					名称		単位					
					①	18歳～39歳の人口		人				
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
結婚を希望する若者への支援					名称		単位					
					①	結婚新生活支援補助金交付件数		件				
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
結婚後も市内に住み続け、子育て世帯が増加する					名称		単位					
					①	定住・移住の市民満足度割合		%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込み及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の活動指標		① 人	10,845	11,385	10,690	11,271	11,158	11,046	10,935			
		②										
(2)の対象指標		① 人	16,820	16,800	16,619	16,780	16,760	16,740	16,720			
		②										
(3)の成果指標		① 件	7	10	15	10	10	10	10			
		②										
(4)の結果の成果指標		① %	93	93	92.9	93	93	93	93			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	1,885	3,000	6,291	11,400	11,400	11,400	11,400			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	942	1,500	1,500	5,700	5,700	5,700	5,700			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	943	1,500	4,791	5,700	5,700	5,700	5,700			
人件費B		千円	704	704	704	704	704	704	704			
正職員従事時間×人数		時間×人	100×2	100×2	100×2	100×2	100×2	100×2	100×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	100	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	2,589	3,704	7,095	12,104	12,104	12,104	12,104			
単位あたりコスト		① 千円/人	0.2	0.2	0.4	0.7	0.7	0.7	0.7			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	5931	結婚新生活支援事業	
-------	--	-----	------	-----------	--

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	夫婦として新生活をスタートさせようとする世帯の経済的負担を軽減している	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	国の地域少子化対策重点推進事業交付金の補助対象者に準ずるため、見直すことはできない	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	国の地域少子化対策重点推進事業交付金の補助対象者に準ずるため、見直すことはできない	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	補助金制度を幅広く周知する		
		目的達成状況	内 容	市のホームページやチラシを見て、問い合わせ件数、補助金申請件数が増加している		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 少子化対策と定住促進を進める		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	統廃合する事業はない		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	より多くの人に補助金を活用してもらうために、削減はしない		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	なし	

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	なし	対応策	なし
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	結婚新生活支援補助金を交付	変 更 ・ 追 加	賃貸の費用の補助上限を3か月分とする。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案		
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止		※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 結婚に伴う新居の取得費用、賃貸費用等の一部を補助し、支援していく。		
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			